

臨床心理学を専門とする井村修教授は、臨床動作法という動作を通して心を元気にするアプローチの実践や、難治性身体疾患の方の心のサポートに取り組んでいます。井村ゼミでは、医療分野に興味のある学生が、心のサポートについて学びを深めています。

臨床心理学事始

私が臨床心理学を学ぶようになったのは、「蘭学事始」の杉田玄白のように高い志があった訳ではありません。親の勧める法学部や経済学部に進学することに疑問を感じ、そのほかの進学先はないかと考え思い浮かんだのが、心理学や教育学を学ぶということでした。臨床心理学に興味を持ったのは、恩師成瀬悟策先生との出会いでした。学部に進学し「手が動いた」というNHKの番組のビデオを見ました。当時、成瀬先生が取り組んでいた、催眠を使った動作不自由の改善の研究を紹介する番組でした。この番組は世の中で心理学が役立つことを教えてくれました。その後、大学院に進学しました。月曜の夕方は実験計画を検討する「デザイン研」、木曜の夕方は臨床実践を検討する「催眠研」と授業以外の研究会がありました。

職業としての臨床心理学

大学院を終え、琉球大学の保健管理センターに、学生相談担当教員として採用されました。授業は1コマだけで、後は学生相談。相談件数も多くなくて本や論文がたくさん読めました。その後、教育学部を経て法文学部に勤務しました。統合失調症の社会的認知の研究を始めました。この研究が私の博士論文になりました。また非常勤の臨床心理士として、総合病院の小児科でカウンセリングを担当しました。夜尿症の治療が最初はメインでしたが、次第に不登校や心身症にひろがり、小児だけでなく成人も来談するようになりました。この時の経験が私の心理臨床の核になっているようです。それは、「変わる力は本人が持っている」ということです。臨床心理の専門家は、本人の持っている力を引き出し、それを応援することだと思っています。

研究・教育としての臨床心理学

私は50歳の時に大阪大学に異動しました。恩師から異動を強く勧められたからです。心理臨床の実践家の育成に加え、臨床心理学の研究者を育てることも役割になりました。また自分の研究を発展させることも求められました。そして国立病院機構の神経内科の先生方と、筋ジストロフィーという難治性疾患の研究を始めました。現在、中枢神経障害や認知機能の研究、疲労感の研究などを行っています。奈良大学では、医療心理学関係の科目を担当しています。また、学内外での臨床心理実習の指導も重要な仕事です。そのため研究から教育に重心を移している所です。

振り返って

私には反抗期らしきものは思春期にありませんでした。ただ学部の選択には自分の意思を通しました。父の死後、残された日記を読むと、「大学には合格したが教育学や心理学で生きていけるのだろうか？」と書かれていました。私の将来が心配だったのでしよう。親の希望に沿わなかった罪悪感は多少ありますが、自分の進路選択は間違いでなかったと確信しています。

受験生へのメッセージ

国家資格の公認心理師が誕生し3年が過ぎました。奈良大学も学部の外部実習が今年から始まり、養成カリキュラムも完成しました。スクールカウンセラー、医療や福祉領域の心理職を希望する学生は、本学のカリキュラムに満足していただけるでしょう。また、社会心理学コースでは産業心理学や集団心理学について学ぶことができます。資格取得だけでなく、企業や官庁へ就職する学生もいます。心理学は基礎から応用まで幅広い学問です。ひとの心や行動に関心のある受験生を歓迎します。

研究室紹介

社会学部 心理学科



IMURA Osamu

井村 修 教授

大分県出身。九州大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学後、琉球大学保健管理センターの講師として学生相談を担当。その後、琉球大学教育学部助教授、法文学部教授を経て、2004年に大阪大学人間科学研究科教授となり、2019年に同大学を定年退職後、本学に着任。九州大学で博士(心理学)を取得、公認心理師、臨床心理士。現在、日本心理学会理事、日本リハビリテーション心理学会理事、日本公認心理師養成機関連盟理事、日本臨床心理士養成大学院協議会監事も務めている。著書に『病気のひとのこころ—医療のなかでの心理学』(松井三枝・井村修[編著]日本心理学会[監修]、誠信書房)等がある。

ならぶ Vol.188 ●発行:令和3年9月 ●発行:奈良大学 〒631-8502 奈良市山陵町1500 TEL 0742-244-1251(代) URL <http://www.nara-u.ac.jp/> E-mail kouhou@oogaki.nara-u.ac.jp ●編集:奈良大学広報室

ならぶ

Na Love

Nara University Bulletin Vol.188



奈良大学 NARA UNIVERSITY

■ 巻頭トピックス

文学部地理学科の学生グループが快挙！



文学部地理学科の学生グループが、5月20日、21日に開催された第17回GISコミュニティフォーラムオンライン(ESRIジャパンユーズ会主催)のマップギャラリー2021に参加し、ストーリーマップ部門1位に輝きました！

受賞したのは地理学科の自主勉強会であるGIS勉強会の牧田ことみさん(2年)、野村奈央さん(同)、田嶋れみさん(同)、吉位優作さん(3年)、岡山和樹さん(同)のグループです。地理学科の勉強会では、身につけた地理学に関する知識やノウハウを「つぎ足しながら、よりよい状態で継承して行ってほしい」という願いをこめて“秘伝のたれ”と称し、上級生から下級生へ伝授しています。GIS勉強会の活動の成果であるストーリーマップは、3年生の岡山さん、吉位さんが助言しながら、メンバー全員が協力して制作しました。(関連記事 P.8/GIS:地理情報システム)

牧田ことみさんのコメント

新しく高等教育で地理総合が必修になります。地理総合ではフィールドワーク(地域周辺調査)が組み込まれており、今回は大和郡山市の郡山高校周辺のコースを作成しました。作成にはESRI ジャパン株式会社のGIS "ストーリーマップ" を利用しました。

情報をたくさん盛り込みつつ、わかりやすいマップを目指して、メンバー全員で意見を出し合い、協力して作成しました。大和郡山市役所や柳沢文庫(公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会)に資料を提供いただくなどご協力いただき、観光案内としても活用できる内容になっていますので、たくさんの人に活用していただきたいです。



受賞したストーリーマップの一部(「大和郡山市と金魚」)

報告会の様子

Contents

- 1 巻頭トピックス
- 2 特集 卒業論文
- 8 トピックス
- 9 クローズアップ
- 11 入試日程
- 12 活躍する卒業生
- 13 インフォメーション
- 15 研究室紹介
社会学部 心理学科
井村 修 教授

■ 特集

卒業論文

大学での学修成果の総まとめである「卒業論文(卒論)」。各学科それぞれの学びのステップを経て、自らが問いを立て、担当教員の指導を受けながら、主体的、積極的に研究を行い、論文にまとめます。卒論に取り組む4年生、卒論を視野に学びを深める3年生に話を聞きました。

文学部 国文学科

古典文学、近現代文学、日本語を基軸とし、そこにこれまでの学びを通じて得た歴史、芸能、出版、メディア表現など、周辺の文化領域に関する知識を援用することで、学際的かつ独創的な視点を持った論文の作成を目指す。

学びの ステップ

1年生

「基礎演習」「国文学の世界」「言語文学」を通して、国文学研究の基礎的知識だけでなく、文献の読み方や調査方法、プレゼンテーションの仕方など、学修全般にわたる基本的技術を身につける。

2年生

「国文学講読」を通して、作品やことばを深く読み解く力を身につける。さらに「平安文学論」「現代日本語論」などの選択科目で、文学や言語学の専門的な知識を習得する。

3年生

「国文学演習Ⅰ・Ⅱ」(ゼミ)を通して、各分野の研究手法や論文制作の方法を学ぶ。

4年生

「国文学演習Ⅲ・Ⅳ」(ゼミ)を通して、指導教員の指導を受けながら、4年間の集大成である自らの研究を卒業論文にまとめる。



奈良大学図書館所蔵の貴重書『春色梅児誉美』(歌川国直画)を鑑賞する金田さん(右)と中尾准教授(左)

金田 千歩さん (4年・中尾和昇ゼミ)

為永春水の『春色梅児誉美』を取り上げ、傍役であるお由の人物論に取り組んでいます。

2年次の**近世文学の講読**でこの作品に出会い、キャラクターや物語の展開の面白さに惹かれました。言葉一つひとつの意味を辞書で調べながら読み、解釈する中で、お由を描写する言葉「女伊達」の意味が、辞書に詳しく書かれておらず、あまいだと感じました。

この経験から「女伊達」って何？ という疑問を追求し、お由の新しい解釈に挑んでいます。

memo 近世文学の講読

国文学講読は、作品の読解と研究入門のための基礎科目です。担当する先生ごとにテーマが異なります。私の講読では、江戸時代の作品を取り上げ、読解方法を学びます。近世文学を学ぶからには、遊郭や芝居といった当時の庶民文化、生活文化がしっかり描かれている作品を読んでもらいたい、近世という時代に親しみをもってもらいたい、という思いから、恋愛小説である人情本や、会話を中心に展開する洒落本を教材に選んでいます。(中尾准教授)

南川 響紀さん (4年・岸江信介ゼミ)

2年生の夏に、岸江教授が行った茨城県での方言調査に参加したことがきっかけとなり、方言に興味を持ちました。

会話している時に祖母が私の知らない古い方言を話していたことから、地元である徳島市とその周辺地域の方言が世代によって変化していることを、アンケートによる調査で立証しようと考えました。現状では対面での調査が困難なため、オンラインでのアンケート等、非接触の調査方法も検討しながら計画を進めています。



茨城県での方言調査(2019年)の様子(左:南川さん)

トピックス

3月の卒業証書・学位記授与式典の後に、学科にわかれて卒業証書等の授与が行われます。国文学科では、併せて優秀卒業論文の表彰を行っています。

◆国文学科 2020年度優秀卒業論文 執筆者および題目(五十音順に掲載)

- 小泉 昭久さん:新潟県十日町市の方言文末詞
- 木山 陽香さん:芥川龍之介「鼻」論 内供の自尊心と人間関係
- 中西 宙暉さん:司馬遼太郎「新撰組血風録」論—新選組を通して見る(司馬史観)—
- 古畑 夏美さん:漢字表記のゆれの研究—中世での「ムザン」の表記をとおして—
- 宮下 結菜さん:村田春海『竺志船物語』論



文学部 史学科

自己の研究テーマに関する先行研究の成果と課題をきちんと整理し、独創的な研究課題を設定する。そのうえで、地道かつ広範な史料調査を実行して、課題解決に向けての実証作業を確実にここない、独自の歴史像を打ち出す。

学びの ステップ

1年生

「基礎演習」「史学研究法」「日本史概論」「東洋史概論」「西洋史概論」を通して、歴史学という学問の基本的な作法を身につけ、日本史と世界史の基礎的な知識を学ぶ。

2年生

「史料講読」「史料研究」で、様々な時代、地域(国)の史料に幅広く接し、史料分析の基本的な作法を身につける。また、「基礎講義」で、多様な研究分野に関する最新の研究動向を学ぶ。

3年生

「演習」(ゼミ)で、自分の研究テーマについて発表し、他人との議論を通して、論理的思考力を養う。また「特殊講義」で、高度な専門知識を修得し、歴史を複眼的、長期的に考察する力を身につける。

4年生

「演習」(ゼミ)での発表とディベートを通して、自分の研究テーマを深化させ、独創性あふれる卒論の完成を目指す。

箕田 結奈さん・三輪 萌さん (4年・河内将芳ゼミ)

犬と猫がそれぞれテーマだと、河内教授からうかがいましたが。

(三輪)犬では範囲が広すぎるので、興味に合わせてテーマを絞り、研究を進めています。

私は、「生類憐みの令」発令前から廃止後の時期に、会津藩の人にとって犬はどのような存在だったのかを調べています。犬喰いって犬を食べたり、犬を鷹の餌にしていた江戸時代の文化を示す文献を見て、驚くと同時にあの有名な「生類憐みの令」から犬を殺すことはなくなったのかという疑問が浮かんだのがきっかけです。

(箕田)猫はつながれて、犬は放し飼いという飼い方が、京都で出された「猫放し飼い令」によって、猫は放し飼い、犬は繋がれてという現在の形に変わったと言われています。私は「生類憐みの令」の発令とも時期



奈良大学図書館にて
三輪さん(左)と箕田さん(右)

が重なる「猫放し飼い令」前後において、猫がどのような存在だったのかを調べています。史料集めが卒業研究の基本です。解放前は京都の史料が、解放後は江戸の史料が多いことから、江戸と京都について調査を進めています。

トピックス

ゼミでの卒論マニュアル小冊子が本になりました。

村上紀夫教授は、今から3年前の演習(4年次ゼミ)で、卒論の書き方をわかりやすくまとめた小冊子「卒論を書くために」を、夏休みの前から手作りして毎週作成し、ゼミ生に配っていました。小冊子は、最終的に「提出に向けて」まで、全部で9冊になりました。その後、小冊子の内容を奈良大学のホームページにアップしたところ、SNSなどで評判になり、出版社の目にとまりました。そして、大幅に増補、加筆をして、2019年に創元社から『歴史学で卒業論文を書くために』として刊行されました。この本は、卒業論文のマニュアルとしてだけでなく、わかりやすい歴史学の研究入門書として、広く読まれています。



村上先生がゼミで配布した小冊子と『歴史学で卒業論文を書くために』

平 祥一さん (4年・高橋博子ゼミ)

連合国による日本占領期の国際関係について、イギリスとその自治領、植民地から成る英連邦占領軍(BCOF)に注目し、研究しています。マッカーサーはなぜ英連邦の占領活動を認めたのか。BCOFの司令官は、なぜイギリス人ではなくオーストラリア人だったのか。

英連邦体制はなぜ崩壊したのか。そんな疑問が研究の端緒です。国立国会図書館デジタルコレクションを活用し、公文書や軍関係者の自叙伝、日記等を資料として研究を進めています。



ゼミで卒業論文の概要について発表する平さん

memo 国立国会図書館デジタルコレクション

著作権などの権利状況に問題がないデジタル化資料などはインターネットで検索・閲覧できます。国立国会図書館関西館は大学の近隣に所在していますので、状況が許せば、授業の中で訪れ、館内限定資料を閲覧する機会を設けたいと考えています。(高橋教授)

文学部 地理学科

学びの ステップ

1年生

「基礎演習」「地理学入門」「地理学実習」「人文地理学」「自然地理学」「地誌学」「地図学基礎」では、地理学にかかわる基礎的な知識と技法について学ぶ。一方で、地理学に関連する人文、社会、自然の幅広い知識や教養を身につける。

2年生

2年次ゼミにあたる「地理学講読・調査法」で地理学に関わる文献読解、討論、フィールドワークの基礎を、「地理学分析・表現法」で地理空間データの分析、各種情報の地理学的表現方法を学ぶ。また、地理学を構成する様々な研究分野の方法と成果について理解を深める。

3年生

演習(ゼミ)では、宿泊を伴うフィールドワークを実施し、1~2年生で習得した基礎知識と基礎技能を実践する。また、「地理学特殊講義」を通じて、より高度な研究内容についてを深める。

4年生

1~3年生で習得した知識と技法を駆使して、自分が設定したテーマについての調査研究を実施し、卒業論文としてまとめ上げる。

福富 果歩さん (3年・土平博ゼミ)

明治期の地図に魅せられています。授業以外の時間にも、陸地測量部が手がけた地形図を見て作成年や修正履歴の記録を取って整理したり、地租改正時に作成された絵図を広げて関連資料と照合したりしています。1枚の地図に込められた内容から、当時の土地の状況を読むことができ、今では失われてしまった景観を知ることができます。3年次の巡検では、地租改正時の地図を探し求めて現地に行く予定です。地図に慣れ親しむことで、古地図や絵図から得られる知見が広がり、卒業論文のテーマと将来の進路が見えてきました。



古地図を見る福富さん(右)と土平教授(左)

memo 巡検

地理学では重要な研究手法の1つです。現地確認・検分、現地調査力向上のための鍛錬を意味しますが、観察・測定・聞き取りなどの地域調査を含んでいることもあります。授業では、ひと味違ったテーマ性のある見聞を体験でき、後に自身が立案できるようになります。2年次では日帰り、3年次では日帰りおよび数日間の巡検を実施しています。(土平教授)

永津 智春さん (4年・木村圭司ゼミ)

卒論のテーマは、当初、出身地である長野県の松枯れ被害の調査をしたいと思っていました。新型コロナウイルス感染拡大状況から、遠方での調査が困難なため、指導教員の木村圭司教授と話をし、奈良市内のナラ枯れ被害を調査することにしました。

ドローンを使った調査は天候に左右されるので、大学グラウンドでの操作練習から実際の調査、論文作成まで、余裕をもった計画を立案して進めています。

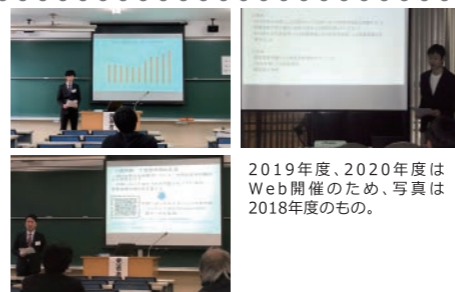


ゼミの下級生の協力により、安全確認しながらドローンの操作を練習する永津さん

トピックス

地理学科では、優秀な卒論を提出した学生の中から代表者3人を選出し、日本地理教育学会の全国地理学専攻学生「卒業論文発表大会」と奈良地理学会冬季例会(卒論発表大会)で発表を行います。

2020年度は、北本琉士さんが「解析雨量を用いた淀川水系草津川流域の洪水危険性」を、川淵大介さんが「都市域のカラスの営巣地と行動～札幌大通公園と大阪府高槻市を例として～」を日本地理教育学会で、高瀬康平さんが「地域おこし協力隊の任期終了後の定着とその地域性について」を奈良地理学会で、それぞれ発表しました。



2019年度、2020年度はWeb開催のため、写真は2018年度のもの。

文学部 文化財学科

学びの ステップ

1年生

専門講義である「文化財学研究法」が1年生から始まる。文化財の考え方の基礎を理解し、資料の分析方法や研究の初歩的技術などを習得する。

2年生

各分野の「講読」で研究のための資料・史料の利用方法を学び、発表・討議を行う力を身につける。また文化財の諸分野の講義を受講し、専門的知識を習得する。

3年生

「演習」(ゼミ)が始まる。専攻分野を選び、研究に着手する。専門的「実習」で現地を訪れるなど、実物に触れながら、研究手法を学ぶ。

4年生

3年次の調査研究をさらに進め、課題を自ら解決していく力を高め、卒業論文を完成させる。

原 由樹乃さん (4年・小林青樹ゼミ)

唐古・鍵遺跡(田原本町)など、奈良県内で出土した**紡錘車**の資料を集め、分類・考察を行います。



奈良大学図書館で資料を探す原さん

2年生の夏、アルバイトで慈明寺遺跡(橿原市)の**発掘調査**に参加しました。土器などの出土遺物が置かれた場所で初めて見た時、何に使うのか想像もつかず、とても気になりました。紡錘車だと教わり、早速スマホで検索し、糸を紡ぐ道具の一部で、おもりの役割を果たしたとされることがわかりました。この出会いが印象深く、また、地元佐賀県の門戸口遺跡(鳥栖市)や須玖岡本遺跡(春日市)などでも出土していることから身近に感じ、テーマに選びました。

memo 発掘調査

文化財学科では、オフ・キャンパスでの研究活動も推奨しています。学生たちは、春や夏の長期休暇を利用した課外活動やアルバイトなどで発掘調査に参加し、大学の演習や演習で習得した知識やスキルを実践に生かし、経験を積んでいます。(小林教授)

紡錘車



所蔵および写真提供: 田原本町教育委員会

大石 舞衣さん (4年・原口志津子ゼミ)

日本画家の上村松園の作品「焰」について、異色作と言われる理由を、ポーズや服飾など絵の中の要素に注目して読み解きました。

現地現物を重視する奈良大学では、実習などで博物館や美術館を訪れる機会が多く、研究テーマを模索する環境に恵まれています。私は美術館で見た美人画がきっかけとなり、「焰」と出会いました。他の作品との雰囲気の違いに目を奪われ、大好きな源氏物語に関連する絵だということも後押しとなり、研究対象に決めました。「好きな作品を研究すれば、挫折も少なく、何よりずっと見ていられて楽しい」という原口先生の言葉を、卒業研究で身をもって経験することができました。



図録で下絵との違いを確認する大石さん(右)と原口教授(左)

トピックス

文化財学科では、とくに優れた卒業論文をまとめた学生に対し、「優秀卒論賞」を授与しています。2020年度の実績(掲載に同意いただいた方のみ)は下記の通りです。

◆文化財学科 2020年度優秀卒論賞 受賞者および論文題目(五十音順に掲載)

- 志原 好さん :近世「梅田墓」の被葬者像
- 谷本 真結花さん:自然災害伝承碑の保存と活用に関する研究
- 福島 芽衣さん :水損紙資料の保存処理
- 横山 めい子さん:「誰が袖図」屏風の謎について



横山さん(左)と原口教授(右)



2020年度卒業式 卒業証書等の授与後に、「優秀卒論賞」が発表された。

社会学部 心理学科

学びの ステップ

1年生

「基礎演習」「心理学概論」「社会心理学概論」「臨床心理学概論」「心理学統計法Ⅰ」「心理学実験」を通して、心理学の基礎知識と、文献の読み方やレジュメ・レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方など、必要な基本技術の獲得を目指す。

2年生

「心理学研究法」で、心理学の研究に必要な知識、研究方法、研究倫理の基礎を身につける。また社会心理学、臨床心理学の各「基礎実習」で、研究に必要な方法論を学ぶ。

3年生

社会心理学コースと臨床心理学コースのどちらかを専攻し、各教員のゼミ(演習)に所属する。理論的に物事をとらえる力を磨き、フィールドワーク等での体験を通して、人間の「こころ」について探究する。

4年生

テーマを選定し、実施した研究の成果をもとに、4年間の集大成として、自らの研究を卒業論文にまとめる。

田中 想さん (4年・臨床心理コース・磯部美也子ゼミ)

乳児における人見知りの発現や、物との関わりの変化の過程を検討することがテーマです。半年間にわたり2週間に1回15分間、赤ちゃん宅で設定場面の様子を撮影し、その変化の過程を記録します。データ分析は根気が要る作業ですが、赤ちゃんの発達を見守りながら、楽しく研究しています。



赤ちゃんの様子を観察する田中さん(右)

菊地 虹佑さん (4年・社会心理コース・村上史朗ゼミ)

マスク着用が日常的となる中、表情が見えない状態で感情伝達が正しく行われているのか疑問に感じました。そこで語調が感情伝達を補っていると仮説を立て、実験で検証したいと思っています。マスクの有無、語調の正誤の組み合わせによる4つの動画を作成し、参加者が動画の人物から受けた印象を測定する実験です。授業で学んだ**質問紙調査法**を用いて質問紙を作成し、Googleformを利用してWeb上で実験を行う予定です。参加者に意味が正しく伝わる文章を心がけ、質問の作成に取り組んでいます。



分析方法について質問する菊地さん(右) (左: 村上教授)

memo 質問紙調査法

社会心理学で用いられる研究手法のひとつで、卒論でもよく用いられています。2021年度のカリキュラムでは、「社会心理学基礎実習」の科目で、質問紙調査法を中心に、研究計画の立案、実施、分析、報告の仕方まで、社会心理学の研究の流れを体系的に学びます。(村上教授)

トピックス

心理学科では、卒業研究の結果について、ポスターセッションで発表します。互いの研究に関心を持ち、質疑応答を重ねながら、理解を深めます。

また、社会学部(心理学科、総合社会学部)では、毎年「奈良大学社会学部卒業研究要旨集」を発行し、卒業生に配布しています。



卒業研究の発表の様子



奈良大学社会学部卒業研究要旨集

社会学部 総合社会学科

学びの ステップ

1年生

「基礎演習」「社会調査概論」「社会学基礎」「社会調査法」「経済学」「情報学」を通して、社会科学の基礎的知識とあわせ、これを学ぶために必要な様々な技能、文献の読み方やレポートの書き方、ディスカッションやプレゼンテーションの仕方などを学ぶ。

2年生

「政治学」「経営学」などを含め、社会科学の諸領域を幅広く学ぶ。「社会体験実習」での学外活動を通して社会の現実を知り、学びに生かす。

3年生

「経済経営コース」「文化情報コース」のどちらかを選択し、より専門的に学ぶ。「演習」(ゼミ)では、「興味・関心」を「研究」に結びつけるための様々な活動を行う。

4年生

4年間の集大成として自らの研究を卒業論文にまとめる。

桑田 光恒さん (4年・経済経営コース・領内修ゼミ)

実家の経営する私立美術館の認知度や集客数等を、SNSを活用して向上させようと、SNSマーケティングを研究しています。

収蔵品の記録保存に役立てるため、入学前は、文化情報コースでデジタルアーカイブを学ぶつもりでした。館長だった父が急逝し、美術館を承継することになり、経営の知識が必要だと考え、経済経営コースに進みました。



美術館入口にてパンフレットを持つ桑田さん

卒業研究を通して、美術館をこれからどう運営し、発展させるのかを検討しています。

memo 卒業論文のテーマ

「起業しよう」をゼミ名として、組織人・企業人への道を示す領内ゼミでは、自身の就職先について研究する学生も多く、桑田くんもその1人です。これまでに「ニトリ考」「地域金融のあり方」などの卒業研究が行われています。(領内教授)

トピックス



2018年3月卒業
三村 捺美さん
イン・ジャパン株式会社勤務

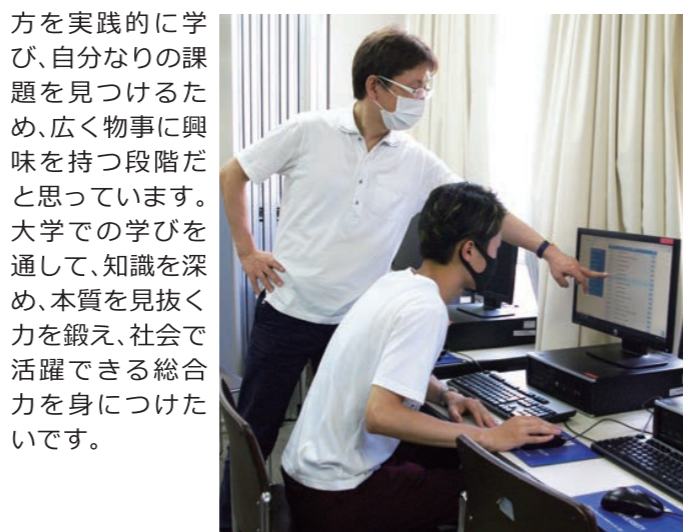
当時、「若者はモノを買わない」と言われることに対し、世間が私達に抱くイメージと私達が実際に考えていることは違うのではないか、という疑問を感じ、若者の消費行動について卒業研究を行いました。

自分の論文が成立しているのか不安に感じた時、吉村先生に相談し、助言と「まとめ7割、意見3割」という言葉をいただきました。卒論は自分の意見を述べるだけ、引用を並べるだけではなく、先行研究や文献を基に、根拠を示しながら自分の意見を論証するものだとして再認識した出来事でした。そして、分かり易い目安により不安が薄れ、安心して研究を進めることができました。

社会学部での学びは実社会に直結したものが多く、「なぜ」と興味を持ったことを調べて、「そうだったんだ」という発見を得る楽しさがありました。皆さんにも、ぜひ、大学での学びを楽しんでほしいと思います。

乾口 知也さん (3年・文化情報コース・吉村治正ゼミ)

吉村先生の3年次ゼミ(演習)では、インターネット上の「炎上」や「荒らし」といった攻撃的な行為を分析し、対処法や相手が見えない状況でのコミュニケーションの取り方などについて、先生を交えてディスカッションをしています。卒論のテーマはまだ決めておらず、今は研究の手法や進め方を実践的に学び、自分なりの課題を見つけるため、広く物事に興味を持つ段階だと思っています。



統計調査について学ぶ乾口さん(右)
(左:吉村教授)

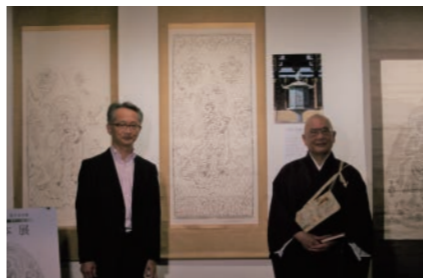
トピックス

6月

June

26日

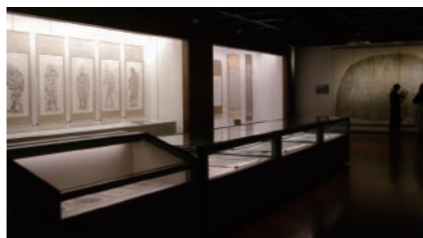
博物館で東大寺龍松院
筒井家所蔵拓本展開催



岡田健教授(左)と筒井寛昭師(右)

6月26日(土)~8月31日(火)に奈良大学令和3(2021)年度企画展「東大寺龍松院筒井家所蔵拓本展-大和古寺の国宝・重要文化財-」が開催されました。東大寺塔頭龍松院長老・筒井寛昭師(東大寺221世別当)と、その父・寛秀師、祖父・英俊師の3代にわたり採拓・収集された拓本コレクションの中から、飛鳥時代、奈良時代、平安時代のそれぞれの仏像の特徴が分かる拓本を、前期・後期に分けて、91点(国宝26、重要文化財51、その他3から採られた拓本)紹介しました。

開催に先駆け、6月25日(金)には寛昭師を招いてオープニングセレモニーを行い、清水哲郎学長と文化財学科岡田健教授が出席しました。



7月

July

19日

地理学科学生グループが
GISポスター展示で1位に!



学長室にて、左から岩崎敬二学生支援センター長、
牧田さん、清水学長、岡山さん、吉位さん

5月にオンライン開催された第17回GISコミュニティフォーラム(ESRIジャパンユーズ会主催)で、地理学科自主勉強会 GIS勉強会の学生グループがポスター展示に参加し、ストーリーマップ部門1位に輝きました。

7月19日(月)には、本学学長室にて、清水学長が学生グループにトロフィーを手渡し、その栄誉を称えました。(関連記事 P.1)

第17回GISコミュニティフォーラム
オンライン
マップギャラリー2021
ストーリーマップ部門 1位受賞
タイトル:

高等教育向けフィールドワーク案
(大和郡山)

メンバー:

牧田ことみさん(地理学科2年)、
野村奈央さん(同)、
田嶋れみさん(同)、
吉位優作さん(地理学科3年)、
岡山和樹さん(同)

8月

August

7日

国文学科
三宅晶子教授 講演

奈良大学国語教育研究会

これからの古典教育

2021年8月7日
三宅晶子

第26回奈良大学国語教育研究会がオンライン開催され、「これからの古典教育」をテーマに国文学科の三宅晶子教授が講演しました。また、卒業生の中園真弥さん(2017年3月卒業・長尾谷高校教諭)の教育実践発表などが行われました。同研究会は、国語教員として活躍している国文学科卒業生が中心となり年1回夏に開催しています。



■ クローズアップ①

文学部国文学科 木田隆文教授が 戦時下の上海で発行された邦人文学雑誌 『上海文学』第2号を発見



発見した『上海文学』第2号を手にする
木田隆文教授(日本近現代文学)

■ 戦時下の上海で発行された『上海文学』の全号を確認 幻の戦時上海の日本語文学の全容が明らかに

『上海文学』(1943年4月～1945年5月)は、第二次世界大戦時に日本の支配下にあった上海で、文化統治政策の一環として出版された唯一の邦人文学雑誌です。

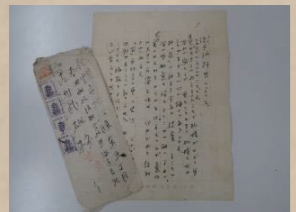
同誌は上海の国策新聞社・大陸新報社が現地文学者を集めて結成した上海文学研究会の機関誌で、同誌記者だった池田克己(奈良県吉野出身)が編集を務めました。会には「長江デルタ」で芥川賞を受賞した多田裕計らが参加。また、「ひかりだけ」で知られる武田泰淳や、日中の文化交流に影響を与えた内山完造らの著名人も執筆していました。しかし敗戦後には日本支配の負の記憶を示す存在として隠蔽・廃棄され、その全貌は長らく謎となっていました。

木田教授らの研究グループでは、2010年に『上海文学』創刊号と3～5号を発見。第2号のみが所在不明となっていたところ、今年6月、木田教授が東京・神田の古書店で発見しました。発見された第2号は1943年10月発行。詩6篇、随筆3篇、小説2篇が収録され、芥川賞候補作となった黒木清次「棉花記」や、「上海文学賞」受賞作である猛田章「東洋人(とんやんにん)」前編など、注目すべき作品が掲載されています。また池田克己も日本への帰省を詩として発表しています。

木田教授によれば、「今回『上海文学』の全貌がみえたことは、戦時下に日本が海外で行った文化統治政策や、外地の邦人文学の実態を知るうえで重要な意味を持ちます。たとえば編集者である池田自身は国策性を示す作品を書きますが、一方で国策に懐疑的な作品の掲載を許します。文学の戦争協力が求められた時代状況を考えると、池田の国策迎合は、編集者として文学発表の場を確保するための偽装だった可能性もあります。この資料はこれまでの“戦争と文学”をめぐる評価を、新たに読み替えていくための有力な材料となると考えています。」と語っています。

■ 敗戦後日本で池田克己が結成した「日本未来派」成立に関する書簡群も新発見 戦時上海と敗戦後日本の文学的連続性が浮き彫りに

『上海文学』の中心的な役割を担った池田克己は、敗戦によって帰国します。しかし帰国後もすぐに文学的活動を再開し、上海文学の同人であった八森虎太郎とともに戦後日本の現代詩に大きな影響を与えた「日本未来派」を結成しました。今年6月、その「日本未来派」の発足に関する内容を綴った、池田克己の八森宛書簡(1950年2月～1952年2月)60通と、ダダイズム詩人・高橋信吉の八森宛書簡27通が木田教授によって発見されました。これらには川端康成・高見順ら著名作家との交流も記されており、戦後詩の成立過程を示すだけでなく、戦後日本と戦時上海の文学的影響関係を解き明かす重要な資料として期待されています。



池田克己書簡1
『日本未来派』の前身、「花」の方針を検討する内容



池田克己書簡2
『日本未来派』同人寄書

池田克己(いけだかつみ) 1912～1953

1912年奈良県吉野郡龍門に生まれる。吉野工業学校建築科卒業後、上京。1931年小学校の師植村諭に初めて詩作を見せる。1934年第一詩集『芥は風に吹かれてゐる』を発刊。1936年上林猷夫、佐川英三らと詩誌『豚』を創刊。1939年徴用令で中国に渡り、1941年に上海で徴兵解除後、大陸新報社の記者として活躍。1943年、上海在住の内山完造・小泉譲・黒木清次・八森虎太郎らと上海文学研究会を発足、『上海文学』を創刊。編集者として敗戦直前まで同誌に詩や小説を発表。また1944年には草野心平らと詩誌『亜細亜』も創刊。1945年に帰国。翌1946年に上林猷夫、佐川英三らと詩誌『花』を創刊。1947年6月に『日本未来派』を創刊し、高見順らに詩作の場を提供。1953年に40歳で死去。

■ クローズアップ② 学外授業

文学部国文学科

「実地見学踏査Ⅰ」 鈴木喬准教授(上代文学)

2021年度前期は、〈第1回〉平城宮跡〈第2回〉神功皇后陵・山陵八幡神社、成務天皇陵〈第3回〉添御県坐神社(歌姫越え)、松林苑、磐之媛命陵(ヒシアゲ古墳)、水上池〈第4回〉大神神社から山邊の道を通って檜原神社、箸墓古墳〈第5回〉猿沢池、興福寺(国宝館)、東大寺(大仏殿、二月堂)、若草山、春日大社、飛火野を訪れました。

平城宮跡では、遷都の歴史や大極殿の役割、平城宮と平城京の違いなど、平城宮について学びながら、関係する歌を鑑賞しました。

あまの原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に 出で月かも
／百人一首(古今和歌集)阿倍野仲麻呂

三笠山は、江戸時代以降は若草山のこととされましたが、仲麻呂が詠んだ三笠山は、春日大社の裏手にそびえ、笠を伏せたような形の御蓋山(みかさやま)を指します。平城宮跡からでは、その輪郭は確認しづらいですが、この歌を詠んだとき、仲麻呂がイメージした三笠山はどのようなものだったのか、みんなで想像してみました。

鴛鴦の位む 君がこの山齋 今日見れば あしびの花も 咲きにけるかも
／万葉集巻第20-4511

万葉集の「山齋を属目して作られた歌」3首のうちの1首です。天皇・貴族などの上流階級の邸宅には優美な苑池が作られました。この苑池は宴遊だけでなく、儀礼や外交使節の歓迎など多面的な機能を持っていました。奈良時代では池をほり中島を設けた苑池を嶋(山齋)とよびました。

奈良大学では現地現物の学びを重視し、学外授業を積極的に行っています。特に文学部では、史跡、遺跡・遺構、神社仏閣など、学びの題材が豊富な奈良の環境を生かし、「現地に行く、実物を見る、体感することにより、学びを深めています。」

2021年度前期に行われた学外授業の中から、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の1つである特別史跡「平城宮跡」を訪れた国文学科と文化財学科の授業を紹介します。

古典や近・現代文学にあらわれる故地を実際に訪ね、歩く・見る・聞くなどの身体感覚(体感)を通じ、日本文学や、日本文化に対する理解を深めます。教室で学んだ知識をさらに深め、実地見聞で得た知識や実感を表現し、報告する力を身につけます。



仲麻呂の心に浮かんだ三笠山を想像する



苑池を確認する

「史料学概論Ⅰ・考古学概論Ⅰ合同学外授業」 吉川敏子教授、相原嘉之准教授

「史料学概論Ⅰ」と「考古学概論Ⅰ」は、文化財学科の1年次から4年次で履修できる前期開講の科目で、主に1年生が履修します。授業は講義形式で行われ、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2021年度はweb授業となりました。

北は北海道から南は沖縄まで全国から学生が入学している文化財学科の1年生には、せっかく奈良大学に進学したのに、まだほとんど奈良の史跡を見学できていないという学生や、土地勘がないので史跡巡りのハードルが高い、という遠隔地からの下宿生も少なくないことから、奈良の魅力を感じ、史料学や考古学に接する第一歩とするために、2科目合同の学外授業として平城宮跡の巡見を実施しました。巡見日を2日に分け、さらに、相原准教授の解説による北回り(大極殿→朱雀門)、吉川教授の解説による南周り(朱雀門→大極殿)の2コースに分かれ、感染防止対策を施して平城宮跡を見学しました。

現地に立って体感することこそが、歴史研究の第一歩です。第一次大極殿・朝堂院や第二次大極殿・内裏、そして平城宮の正門である朱雀門と、その前に広がる朱雀大路など、平城宮の歴史的な意義やその広大さを体感しました。



平城宮の中軸線を解説



朱雀門前の解説風景

「史料学概論Ⅰ」 吉川敏子教授

歴史を書くための材料である史料には、さまざまな種類がありますが、なかでも重要なのは、情報量に勝る文献史料です。日本古代の文献史料の中から、編纂物と古文書を取り上げ、そこから読み取れる情報や問題点を理解し、文化財学における史料学の意義を考えます。

「考古学概論Ⅰ」 相原嘉之准教授

日本では埋蔵文化財保護の一環で遺跡の発掘調査が行われており、考古学は歴史研究において大きな役割を果たしています。考古学本来の目的やその基本的な研究法、さらには現代社会における考古学の役割について、奈良文化財研究所・滋賀県・明日香村の各機関で埋蔵文化財調査や文化財保護行政に携わった相原先生が、実績に裏打ちされた知識や事例を交えて解説します。

入試日程

＜試験日程の変更、選抜方法の変更について＞

今後、試験日程の変更、選抜方法の変更が発生した場合は、速やかに告知、対応を行いますので、本学ホームページ等でご確認ください。



奈良大学 入試情報サイト

試験	出願期間	試験日	合格発表日	当日の試験科目など	
総合型選抜 (AO入試) 第1回目	国文	エントリー:10/1(金)締切 本出願:10/6(水)~10/13(水)	10/23(土)〈オンラインのみ〉	10/29(金)	
	史	エントリー:10/1(金)締切 本出願:10/6(水)~10/13(水)	10/23(土)〈オンラインか対面〉	10/29(金)	
	地理	エントリー:10/1(金)締切 本出願:10/6(水)~10/13(水)	10/23(土)〈対面〉 10/24(日)〈対面〉	10/29(金)	
	文化財	エントリー:9/22(水)締切 本出願:10/6(水)~10/13(水)	10/2(土)〈オンライン〉 10/23(土)〈対面またはオンライン(未定)〉	10/29(金)	
	心理・ 総合社会	エントリー:10/1(金)締切 本出願:10/6(水)~10/13(水)	10/23(土)〈オンラインか対面〉	10/29(金)	
総合型選抜 (AO入試) 第2回目	国文	エントリー:11/2(火)締切 本出願:11/9(火)~11/24(水)	12/4(土)〈オンラインのみ〉	12/11(土)	
	地理	エントリー:11/2(火)締切 本出願:11/9(火)~11/24(水)	12/4(土)〈オンライン〉	12/11(土)	
	心理・ 総合社会	エントリー:11/2(火)締切 本出願:11/9(火)~11/24(水)	12/4(土)〈オンラインか対面〉	12/11(土)	
総合型選抜 (AO入試) 第3回目	国文	エントリー:2022・2/28(月)締切 本出願:2022・3/4(金)~3/10(木)	2022・3/20(日)〈オンラインのみ〉	2022・3/21(月・祝)	
	心理・ 総合社会	エントリー:2022・2/28(月)締切 本出願:2022・3/4(金)~3/10(木)	2022・3/20(日)〈オンラインか対面〉	2022・3/21(月・祝)	
総合型選抜 奈良大学校友特別推薦	11/1(月)~11/10(水)	11/20(土)	12/2(木)	口頭試問	
学校推薦型選抜 指定校制推薦入学選考	11/1(月)~11/10(水)	11/20(土)	12/2(木)	口頭試問	
学校推薦型選抜 前期・後期	前期(基礎学力型、 課題提示型小論文)	11/1(月)~11/15(月)、 窓口11/16(火)	11/25(木)	12/2(木)	基礎学力型は受験・ 判定ともに2科目
	後期(課題提示型小論文)	12/2(木)~12/13(月)、 窓口12/14(火)	12/18(土)	12/23(木)	
一般選抜	S日程	2022・1/4(火)~1/19(水)、 窓口1/20(木)	2022・1/27(木)	2022・2/2(水)	受験・判定ともに3科目
	A日程	2022・1/4(火)~1/19(水)、 窓口1/20(木)	2022・1/28(金)	2022・2/2(水)	受験は3科目、 判定は高得点2科目
	B日程	2022・1/4(火)~2/3(木)、 窓口2/4(金)	2022・2/10(木)	2022・2/14(月)	受験・判定ともに3科目
	C日程	2022・2/7(月)~2/22(火)、 窓口2/23(水・祝)	2022・3/2(水)	2022・3/6(日)	受験・判定ともに2科目
一般選抜 大学入学共通テスト 利用入試	A日程	2022・1/4(火)~2/4(金)	2022・1/15(土)、1/16(日)	2022・2/14(月)	3科目で判定 (必須、選択は学科により異なる)
	B日程	2022・2/7(月)~2/24(木)	2022・1/15(土)、1/16(日)	2022・3/6(日)	2科目で判定 (必須、選択は学科により異なる)
	C日程	2022・2/25(金)~3/11(金)	2022・1/15(土)、1/16(日)	2022・3/19(土)	2科目で判定 (必須、選択は学科により異なる)
編入学試験・社会人編入学試験・社会人入試	11/1(月)~11/10(水)	11/20(土)	12/2(木)		
専門高校・専門学科・総合学科対象入試、 地域貢献入試、芸術入試	11/1(月)~11/10(水)	11/20(土)	12/2(木)	口頭試問、小論文、専門科目、英語 (口頭試問以外は試験制度および 学科により異なる)	
外国人留学生入試	10/1(金)~10/25(月)	11/20(土)	12/2(木)		

試験	出願期間	試験日	合格発表日	当日の試験科目など
大学院 春季	2022・1/7(金)~1/19(水)、 窓口2022・1/20(木)	2022・2/16(水)	2022・2/19(土)	試験制度および専攻により異なる

活躍する卒業生

「地理的見方・考え方」を強みに

ESRIジャパン株式会社

羽田 康祐 さん

(文学部地理学科 2003年3月卒業
大学院文学研究科地理学専攻(修士課程) 2005年3月修了)



GIS(地理情報システム)との出会い

元々文化人類学に興味があり、興味の延長線上にある地理学科に入学しました。しかし、ゼミを決める時、企業に就職するために役立つスキルを身につけようと思ったのがGISとの出会いでした。技術習得のスタートが遅かったため、自分が目指すレベルのスキルを身につけるためには時間が足りないと感じ、両親に相談して修士課程まで進学させていただきました。研究室に毎日通い、先輩・同期・後輩達と作業や研究に没頭した日々は懐かしい思い出です。

「使う側」から「伝える側」へ

研究室では主にEsri(エスリ)社のArcGIS(アークジーアイエス)というソフトウェアを利用していました。ArcGISの設計思想に強い感銘を受け、「使う側」から「伝える側」になりたいと考え、2005年、ESRIジャパン株式会社に就職しました。入社後は製品の導入支援やトレーニング講師、技術サポートなどを担当しました。GISを「伝える」には、ソフトウェアの操作方法だけでなく、背景にある地理学や地図学の知識が必要です。

2016年6月から2021年5月までの間は政府機関に転籍し、内閣事務官という肩書きで情報分析支援や組織内でのGIS教育に従事していました。政府の中心機関で働く不安は少なからずありましたが、「地理的見方・考え方」は大きな強みでした。恩師の碓井照子奈良大学名誉教授は、「GIS」を武器にして社会で活躍できる人材育成にも注力されていたので、奈良大学地理学科で学んだことがそのまま仕事に役立っています。

地理学や地図学が社会で幅広く役立つことを知って欲しい



世の中には誤った地図があふれています。地図の作り手にとって都合のよい印象を与えるため、読み手を意図的に誘導するように作られた主題図もあります。これらを見抜くために、読み手側にも地図の知識(リテラシー)が必要になります。とあるイベントで、地理学科の木村圭司教授から「高校の『地理総合』必修化で、誰もが地図やGISを学ぶことになるが、実は教える側で地図やGISに詳しい人は多くない」という実情を伺いました。このお話がきっかけで、教員はもちろん、子供を学校に通わせる保護者に「地図」を学ぶことの大切さを伝える一般書を企画することになり、2021年8月に上梓しました。

「地理」の範囲はあまりに広いので、本書では教養として身近で役立つ「地図」に焦点を絞っています。初學者はもちろん、地理学を修められた方が読んでも退屈しない構成になっていますので、ぜひご覧ください。

※写真は2021年8月に刊行された羽田さんの著書『地図リテラシー入門—地図の正しい読み方・描き方がわかる』(ベレ出版)

メッセージ

「地理学は諸科学の母」という言葉があります。地理学は地図学・地理情報科学なども包含した文理融合の学問で、客観的なものの見方・考え方が学べます。それは、社会で「生きる力」としても強力な武器になります。

■ インフォメーション

■ キャリアセンターからのお知らせ

キャリアセンターでは、みなさんの就職や進路に関する相談を受け付けています。3、4年生だけでなく、1、2年生のみなさんも、ぜひ気軽にキャリアセンターに相談してください。

場所 A棟(本部棟)2F

時間 月～金 8:30～16:50 ※緊急時は18:00まで対応可

土 8:30～12:30 ※緊急時は16:30まで対応可

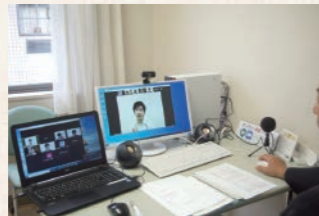
※日曜・祝日・夏期休業中の土曜・お盆(8月13日～18日)・正月(12月29日～1月5日)はお休みです。

● キャリアサポート

キャリアセンターでは学科別担当制を採用し、きめ細かな指導の徹底を図っています。

進路についての相談、履歴書の添削、面接練習などに対して、対面によるサポートを行っています。

また希望者には、パソコンやスマートフォンを使ったWeb相談にも対応しています。気軽に利用してください。



Web企業合同説明会

● 各種ガイダンス

夏休み明けの9月28日(火)には、3年生を対象に就活本番に備えるための「学科別ガイダンス」を実施します。ここで就活のバイブルとなる「キャリアガイド」を配布します。10月からは3年生全員の個人面談を開始します。この個人面談で進路希望を伝え、キャリアセンターの支援を受けるようにしてください。

その後も、業界説明会、マナーガイダンス、就活攻略ガイダンスなど、就活に備えるガイダンスが連続します。

下記のキャリアポータルからの情報をチェックし、キャリアセンターを活用して、就職活動を成功させてください。



ビジネスマナー講座

● キャリアポータル

キャリアポータルは、在学生専用のサイトです。採用情報、インターンシップ情報、キャリアセンター主催のガイダンスやセミナーなど、キャリアセンターからの情報を掲載し、就活を支援しています。実施済みのガイダンスについては録画や資料も掲載しています。ぜひ活用してください。

キャリアポータル(奈良大学ホームページ)
<http://www.nara-u.ac.jp/career/center/>
※ キャリアポータルへのアクセスもこちらから。



キャリアセンター

■ 奈良大学図書館からのお知らせ



現在、企画展『CROSS OVER ～未知の分野と触れ合う～』を図書館展示室にて開催中です。2学部6学科の先生方が選び抜いた図書館所蔵資料

や研究所蔵史料等を展示しています。学生にとって普段は閲覧することのできない貴重書を含めて、各学科それぞれの特色を生かした資料を集めました。開催期間は9月末までを予定しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一般の方は入館いただけません(8月末時点)。開館スケジュールなどの最新情報は、奈良大学図書館ホームページでご確認ください。

展示内容 (一部をご紹介)

文学部国文学科は、各時代の文学に多大な影響を与えた古典文学『伊勢物語』に焦点を当て、「伊勢物語和歌註」「鄙物語業平草紙」「新譯繪入伊勢物語」(奈良大学図書館所蔵)を展示しています。

文学部史学科は、「神功皇后三韓征伐御調練之図」(京都・大坂風聞書)の2点を展示。幕末の世相をうかがうことができる史学科所蔵の貴重な文献史料です。

社会学部総合社会学科は、領内修教授のコレクションより「ニューズウィーク日本版(CCCメディアハウス)」10年分のバックナンバーから抜粋して展示。「表紙から見る世相の移り変わり」をテーマに、領内教授が解説します。

上記のほかにも、貸出のできる資料もあわせて展示していますので、この機会に未知の分野に触れてみてはいかがでしょうか。

今回は、国文学科三宅晶子教授(中世古典文学)の企画により、国文学科の推薦で購入された貴重書『和歌十九代集』をテーマにした展示を予定しています。展示期間などの詳細は奈良大学図書館ホームページでご確認ください。

奈良大学図書館ホームページ
<https://library.nara-u.ac.jp/>



奈良大学図書館

■ 学生生活における相談先

◆ 総合相談受付: 学生支援センター 学生担当

どこに聞いたらよいのか、誰に聞けばわかるのかなど、学生生活で何か困ったことがあれば、気軽に相談してください。

◎ 場所/A棟(本部棟)2F

◎ 時間/月～金曜日 8:30～16:50 土曜日 8:30～12:30

※夏期・冬期・春期休業中や試験期間、大学行事等により時間が変更になる場合があります。

◆ 学生相談室

学生の個人的な悩みや諸問題の解決にできるだけ示唆・助言を与えるため、学生相談室が設けられています。相談相手は、相談室のカウンセラー(臨床心理士)と学生相談員(教員)です。予約方法などの詳細はホームページで確認ください。

◎ 場所/J棟(総合研究棟)1F

サポートルーム(J-104)

カウンセリングルーム(J-109)

◎ 開室時間/月～土曜日 10:00～17:00

※夏期・冬期・春期休業中は、基本的に閉室しています。

学生相談室(奈良大学ホームページ)

<http://www.nara-u.ac.jp/life/counseling/>



学生相談室

◆ 障がい者支援相談体制

学生相談室では障がいや疾患等のある学生が大学で支援・配慮を受けるための申請手続きや、一人ひとりのニーズに応じたサポートを行っています。障がいや疾患等のある学生で、修学上の心配ごと、困りごとなどがありましたら、学生相談室にご連絡ください。学生支援センター 学生担当・教務担当、授業担当教員等と連携しながら支援を行います。

◆ 医務室

看護職スタッフが在室して、学生の皆さんが心身ともに健やかに学生生活を過ごせるようサポートしています。

構内での病気・ケガの応急処置の他、健康相談、病院の紹介等の助言も行っています。

◎ 場所/J棟(総合研究棟)1F J-103

◎ 開室時間/月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:30

医務室(奈良大学ホームページ)

<http://www.nara-u.ac.jp/life/dispensary/>



医務室

附属高等学校

2年ぶりの全国高等学校総合体育大会

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったインターハイ(全国高等学校総合体育大会)ですが、今年度は、「輝け君の汗と涙 北信越総体 2021」をスローガンに開催され、本校から下記の種目に39名の選手が出場しました。出場選手の数としては、県内で2番目に多い学校となっています。昨年度、コロナ禍で思うように競技を続けることができなかった先輩たちの思いを胸に、選手たちは競技できる喜びを噛みしめながら精一杯の力を出し切りました。

〔バドミントン部〕

男子団体、男子個人ダブルス、
男子個人シングルス、
女子団体、女子個人ダブルス、
女子個人シングルス

〔剣道部〕

男子団体、男子個人、
女子団体、女子個人

〔なぎなた部〕

団体、演技

〔体操競技部〕

女子団体



附属幼稚園

お買い物体験



7月2日のわくわくクラブでは、「お買い物体験」を楽しみました。

幼稚園で作られた出来立てのお弁当がホールの机に並んだら、お弁当屋さんの開店です！年少組のお友だちから順番に、お財布を持ってお買い物に訪れました♪

「おべんとうひとつください！」ちよっぴり緊張しながら、動物の形をした3種類のお弁当箱から好きなものを選んで注文しました。お財布の中からお弁当チケットを取り出して、店員さんに扮した給食の調理員さんに渡します。お買い物を終えた後の、「ありがとうございます」と伝える嬉しそうな顔♪

お弁当をひっくり返さないように、転ばないように、自分で買ったお弁当を大切に大切に部屋まで運びました。大人気のから揚げ弁当を、大きなお口で頬張る子ども達でした。

